

概 要

閲覧した資料「0000102076 LE_00408_001 (00408-001) OK-250 - OK-347.」の中に、真和志村大道赤マカリ原 144 地番（現那覇市）の土地所有権申請書の保証人として、隣接番地主の氏名・地番が含まれていた（当該件数：2 件）。

記載された「住所（例：大道 1 班、大道 45）」について実態調査（所有者探索調査）の結果と照合したところ、本地番については所有者不明土地には含まれていなかったことが確認された。

資 料

[illegible]

66

(6) 検証結果のまとめ

本調査では令和元年度調査から引き続き RG260 (USCAR 文書) の資料のうち先行調査で言及されていない資料から所有者不明土地に関連性の高いキーワードが資料概要に記載された資料を抽出・確認し、真の所有者特定につながる資料かどうかを検証した。

令和元年度調査から2か年にわたって実施してきた所有者特定に資する情報の収集可能性調査(公文書館調査)では、膨大な資料の中から真の所有者の特定につながる資料を発見し得る可能性の高い資料群を優先して検証を行ってきた。

2か年の調査から、「土地所有権証明書」「所有者への土地返還書類」など所有権や所有者を特定できる資料、「土地の貸与者・使用権者」又は「建物の所有者」を特定できる資料のほか、所有者として何らかの申請・請願をしている書類など、所有者を類推できる資料も確認された。

公文書館資料から抽出された情報のうち、現存する所有者不明土地が位置する大字と合致した情報については、沖縄の所有者不明土地の地番と突合し、真の所有者の特定につながる情報の有無を調査した。さらに、換地されている土地については換地前の地番も含めて照合作業を行った。

その結果、1件が現存する沖縄の所有者不明土地(市町村管理地)の地番と一致したが、この事例での所有者名は当該地の村長であり、管理者として所有者欄に記載されたものと考えられる。そのほか、地番が類似している情報は発見されたが、真の所有者の特定につながる情報は確認されなかった。